

<浜辺の歌>

あした浜(はま)辺(べ)を さまよえば
昔(むかし)のことぞ 偲(しの)ばるる
風(かぜ)の音(おと)よ 雲(くも)のさまよ
寄(よ)する波(なみ)も 貝(かい)の色(いろ)も
ゆうべ浜(はま)辺(べ)を
もとおれば
昔(むかし)の人(ひと)ぞ 偲(しの)ばるる
寄(よ)する波(なみ)よ かえす波(なみ)よ
月(つき)の色(いろ)も 星(ほし)のかけも
疾風(はやち)たちまち 波(なみ)を吹(ふ)き
赤(あか)裳(も)のすそぞ
ぬれもせじ
病(や)みし我(われ)は
すべていえて
浜(はま)辺(べ)の真(ま)砂(さご)
まなごいまは